

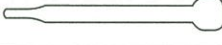
パイプ倉庫 GR-59

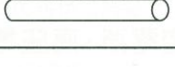
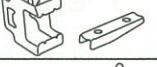
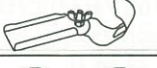
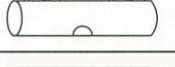
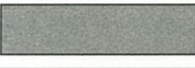
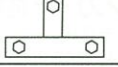
部材一覧

保存

【1909】

製品寸法 (パイプ中心値)
間口3.6m×高さ2.4m×奥行5.3m

A ケース				
No.	品名	規格	数量	形 状
①	アーチ用パイプ	22×220cm	22	
B ケース				
No.	品名	規格	数量	形 状
②	脚用パイプ	22×186SPcm	22	
C ケース				
No.	品名	規格	数量	形 状
③	横通し用パイプ	19×180cm	5	
④	横通し用パイプ	19×180Scm	10	
⑤	前柱用パイプ	19×180SPcm	2	
⑥	〃	19×62cm	2	
⑦	レール用パイプ	19×119cm	2	
⑧	ツカパイプ	19×34cm	1	
⑨	後部脚用パイプ	19×180SPcm	3	
⑩	後部用パイプ	19×107cm	1	
⑪	後部用パイプ	19×85cm	2	
⑫	ビニバー	188cm	4	
⑬	スプリング	50cm	12	
D ケース				
No.	品名	規格	数量	形 状
⑭	外ジョイント	22用	11	
⑮	軍手		1組	
⑯	水系	約100m	1	

No.	品名	規格	数量	形 状
⑰	ニューユニバーサルジョイント	25×19	2	
⑱	Tバンド	22×19	8	
⑲	フックバンド	19×19/22兼用	36	
⑳	パイプバンド	25×19	9	
㉑	Rバンド	5芯×約150m	1	
㉒	Rバンド/グレー	約70m	1	
㉓	ラセン杭	小	22	
㉔	ラセン杭用パイプ	19×60cm	1	
内梱小箱(前後パイプ用部材)				
㉕	ニューユニバーサルジョイント	25×19	1	
㉖	ニューユニバーサルジョイント	22×19	4	
㉗	パイプ止金具	19用	8	
㉘	棲金具(外)	22用	4	
㉙	ストレートジョイント	19用	2	
㉚	スポンジテープ	10cm	4	
E ケース				
No.	品名	規格	数量	形 状
㉛	天幕	約幅7m×長さ5.8m	1	
㉜	後幕		1	
㉝	前幕		1	
内部品セット				
a	Sカン		10	
b	Sカン付ゴムロープ	※倉庫専用	2	
c	ニューユニバーサルジョイント	22×19	2組	
d	ニュー自在Tバンド	19×19	1	
e	三穴Tジョイント	19用	1	
f	ナップ止め		7	
付属品				
説明書		注意書/部材一覧:1枚 組立説明書:1部		

裏面『安全上の注意』を
作業前に必ずお読みください。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」では、お客様や人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用頂く為に守って頂きたい事項を示しています。ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、内容をご理解の上、正しく安全にご使用頂きますようお願い致します。

⚠警告

この項目の内容は「人が死亡または重傷※1を負う可能性が想定される内容」を示しています。

※1「重傷」とは、失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期通院を要するものを指します。

⊗禁止 固定を行わない設置

弊社取扱製品は、設置にはすべて「支柱の埋込」または「ベースに鉄筋杭やアンカーの打ち込み」による固定が必ず必要となっております。固定を行わずに置くだけの設置をすると、強風時などに倒壊・吹き飛ばされるなどの事故の原因となります。必ず固定して設置してください。

置いただけの設置は絶対に行わないでください。

また、設置場所がコンクリート・アスファルトまたはタイル等の場合や設置場所の地面が固く締まっている場合、アンカーを打つ場所に、先に下穴を開ける必要があります。これらの場所に固定用アンカーの下穴を開ける場合は、振動ドリルなどの工具が必要になります。こういった工具をお持ちでない場合は、お近くの工務店、エクステリア業者等にご相談して設置をしてください。

⊗禁止 建物の屋上・テラス・ベランダ等の高い場所への設置

これらの場所は固定が行えないだけでなく、強風が吹いた場合、製品が落下したり吹き飛ばされたりして、人が死亡または重傷を負ったり、周囲に損害を与えるおそれがあります。このような場所には絶対に設置しないでください。

⊗禁止 風が強い場所への設置

強風(ビル風・川風・海風・高い場所等)にさらされる場所を避けて設置してください。このような場所では周囲よりも強く風が吹くことがあり、思わぬ損傷を受け、事故につながるおそれがあります。また、設置場所によっては、付属の固定クイでは、強度が不足する場合がありますので別途補強を行って設置してください。

⊗禁止 積雪・落雪がある場所への設置

豪雪地帯のような毎年積雪のある場所では、雪の重さによって製品が損傷(シート・ネットが破れる・倒壊等)するおそれがあります。また、屋根など高い所から雪が落ちる場所へ設置すると、落下した雪の重さに耐え切れずに製品が損傷・倒壊するおそれがあります。

⊗禁止 傾斜地・凹凸のある場所・軟弱な地盤の場所への設置

傾斜のない平坦な場所に設置してください。傾斜地・凹凸のある場所には安定して設置できません。また、地盤が軟弱なところでは、固定を行えない為設置できません。

⊗禁止 火の影響を受ける場所への設置

焼却炉の付近等、火気の近くには設置しないでください。

⊗禁止 幹線道路・線路の付近への設置

強風が吹いた場合に付近の自動車や列車に衝突して重大な損害を与えるおそれがあります。

⊗禁止 変電所・高圧電線付近への設置

強風が吹いた場合、吹き飛ばされた部材が電気施設に重大な損害を与えるおそれがあります。

⊗禁止 その他危険な場所への設置禁止

上記以外でも危険があると思われる場所には絶対に設置しないでください。

⊗禁止 悪天候時の設置・補修作業

悪天候時の組立・補修作業を行わないでください。災害の原因となるおそれがあります。

⊗禁止 素手での設置・補修作業

組立・補修作業を行う時は、安全の為必ず手袋をはめて作業をしてください。

⊗禁止 シートを張る作業について

弊社製品本体のベースを固定してから、シート・ビニール・ネット等を張ってください。ベースを固定せずにシート・ビニール・ネット等を設置すると本体が移動することで、シートやヒモが緩むなどの理由で、製品が損傷し事故の原因となるおそれがあります。

⊗禁止 目的外の使用禁止

弊社取扱製品は各製品の使用目的を守ってご使用ください。他の用途には絶対に使用しないでください。特に子供の遊び場等には絶対に使用しないでください。

⊗禁止 火気禁止

弊社取扱製品の付近や内部では絶対に火気(コンロ・石油ストーブ・バーナー・溶接機等)を使用しないでください。パイプ車庫前後幕付きご使用の場合は、前幕を開けるなどして換気を十分に行い、マフラーがシートに近づきすぎないようにご注意ください。

⊗禁止 危険物の貯蓄禁止

危険物(可燃物・劇物・薬物・毒物・ガソリン・ガスボンベ・シンナー・塗料等)を保管しないでください。また、これらの危険物を積載した状態での車両の保管もおやめください。

⊗禁止 換気にご注意

内部でエンジンのアイドリングを行わないでください。一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、揮発性の薬品やガス等を使用しないでください。内部で発電機やポンプ等、エンジンを使用した場合、送風機等を使い、換気を必ず行ってください。

⚠注意

この項目は「人が傷害※2を負う可能性が想定される内容や、物的傷害※3の発生が想定される内容」を示しています。

※2「傷害」とは、治療に入院や長期通院を要さないけが・やけど(高温・低温)・感電等を指します。

※3「物的損害」とは家屋・家財及び家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

⊗注意 パイプに物を掛けない。

構造材のパイプに物を掛けたり、ぶら下がったり、物を吊るす等余計な力・重量を加えないでください。

⊗注意 操作に関するご注意

開閉できる幕がある場合は、車の出し入れ時以外は必ず閉めてください。幕が開いていると、風に吹かれて車庫内部の車を金具等で傷つける恐れがあります。

⊗注意 強風の場合

強風時は天気情報などを参考に、前もってシート・ビニール・ネット等は外し、まとめてロープ等で骨組みに止めてください。シート・ビニール・ネット等をそのままにしておくと、破損したり、フレームに損傷を与える恐れがあります。台風等で災害が予想される時は、パイプ車庫・パイプ倉庫・ビニールハウス・ゴルフ練習ネット等、固定して設置してある場合でも、シート・ビニール・ネット等を外し、畳んで収納してください。

⊗注意 雪が降っている場合

雪が積もった場合は、随時雪降ろし作業を行ってください。シート上に雪が積もっている場合は、雪の重さで倒壊する危険がありますので、内部には絶対に入らないでください。内部に入る前に、必ず雪降ろしを行ってください。

⊗注意 仕様変更

商品改良の為、仕様を予告なく変更することがあります。

■メンテナンス(保持管理)について

弊社取扱製品はいくつかの点を定期的にメンテナンス(保持管理)を行う必要があります。長期間メンテナンス(保持管理)を行わずに使用を続けると不調の原因となる場合があります。製品を設置された後は、危険防止措置を含むメンテナンス(保持管理)をお客様の責任において行ってください。

⊗注意 アンカー・固定ひもの点検

弊社取扱製品を固定しているアンカーがぐらいついたり抜けている箇所がないか、また固定ひもが切れたり、緩んだりほどけている箇所がないか、定期的に確認してください。アンカーや固定ひもに問題を見つけた場合は、早めに補修を行ってください。放置すると、シート・ビニール・ネット等が強風時に飛ばされる恐れがあります。

⊗注意 シート・ビニール・ネットの点検

弊社取扱製品のシート・ビニール・ネット等に破れたりほつれたりしている箇所や、裂けている箇所がないか定期的に確認してください。シートの破損を放置すると、破損箇所が大きく広がったり、シート・ビニール・ネット・フレームに悪影響を与える恐れがあります。

⊗注意 降雨後のお手入れ

雨が降った後などシートに水がたまった場合は、シート上に水がたまらない様に、シートをピンと張るように張り直してください。水がたまったままにすると、フレームが倒壊する原因になる恐れがあります。

⊗注意 交換用部材の発注について

交換用シート等のご注文は、それぞれの型番でご注文ください。部材の型番は、部材表・組立説明書に記載してありますので大事に保管してください。



パイプ倉庫 GR-59



【1909】

この度は、当社の商品をお買い上げいただき誠に有難うございます。
 この商品の組み立て作業は、成人男性2人以上で行なってください。
 組み立てる前に部材一覧表と梱包部材に相違が無いことを確認し(小さい部品の管理に注意
 してください)、『安全上の注意』を良くお読みになり、安全に作業してください。



南榮工業株式会社

製品実寸法『パイプ中心値(パイプ径:22.2mm)』

間口:約3m60cm 奥行:約5m30cm



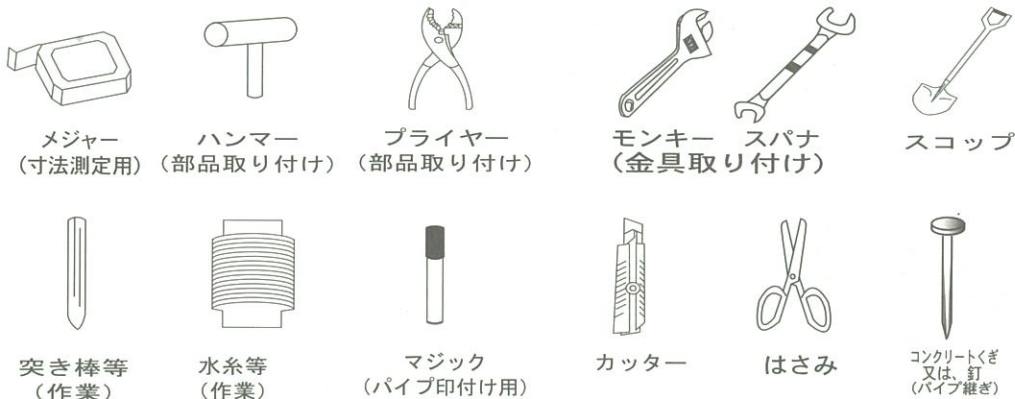
(ケース名) (部品No) (寸法) (数量)

○各組み立て手順の項目ごとに **A ケース ① 22×220cm 22本** の表示があります

その項目で使用する部材ですので、先ず揃えてください。

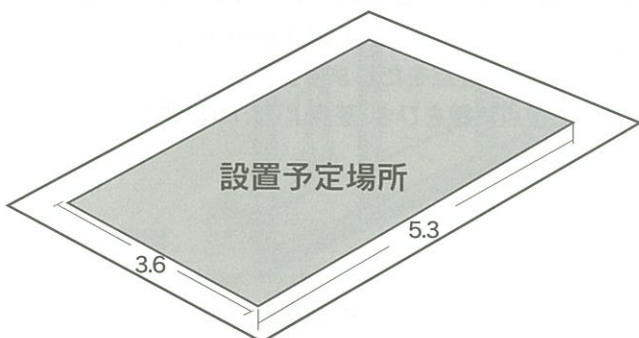
○各項目ごとに組み立て手順/イラストを一回良くお読みになってから作業を進めてください。

1 必要工具を準備します。



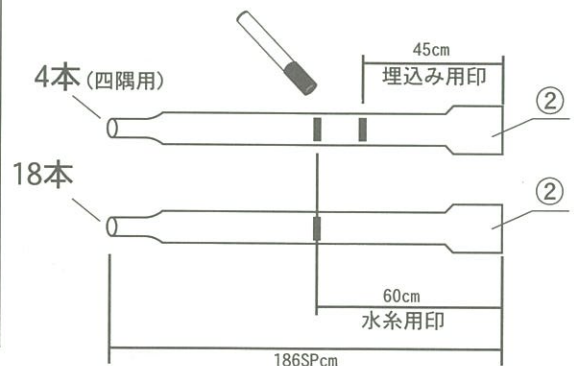
2 整地をします。

作業性を考えて広めに整地してください。



3 脚用パイプに印を付けます。

B ケース ② 22×186SPcm 22本

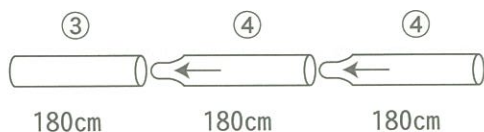


4 横通し用パイプを継ぎ印を付けます。

C ケース ③ 19×180cm 5本

C ケース ④ 19×180Scm 10本

- (1) ④と④を差し込み、③に差し込んでください。
- (2) 継いだ横通し用パイプに58.5cmごとに印を付けてください。
- (3) 継ぎ目を抜けない様にしてください。



5組作ります。

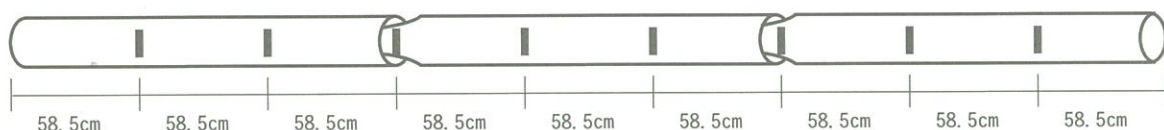
! 全ての継ぎ目を抜けない様につぶしてください。
(完成後、風などの揺れで、抜ける事があります。)



裏返して反対側もつぶします。 固いものを敷きます(石、鉄板など)

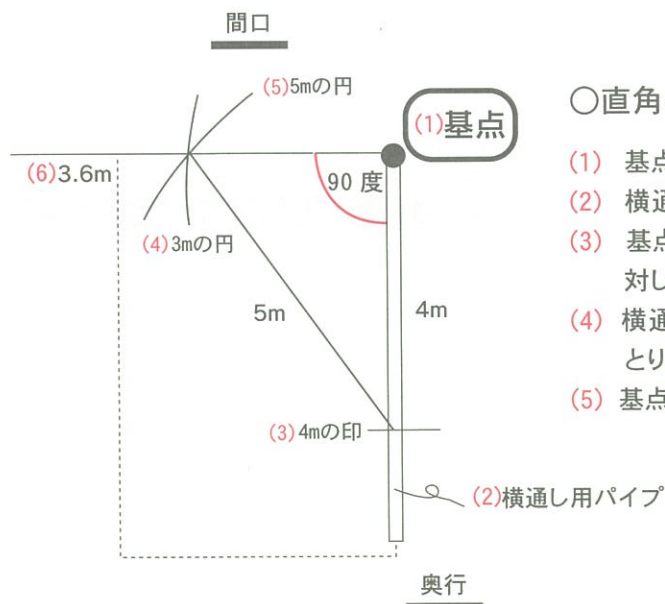


! 脚用パイプの埋め込み・取付け位置となります。



58.5cm 間隔に印を付けてください。

5 基点を決め、直角を出します。

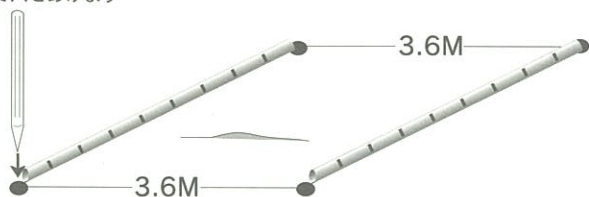


○直角を出す方法

- (1) 基点を決めます。
- (2) 横通し用パイプを1本置きます。
- (3) 基点から4m (横通し用パイプに対して)・3m (間口に対して円をかく用に) 印を付けます。
- (4) 横通し用パイプ上の4mの印から5m (円をかく様に) とり、3mとの接点をだします。
- (5) 基点と接点に線をひき、基点より3.6m に印を付けます。

6 脚用パイプを建てます。

突き棒で穴をあけます



- (1) 継いだ横通し用パイプを3.6m間隔(パイプ中心)に平行に置き、四隅に穴を掘ります。

- (2) 四隅に開けた穴に、②を手順③で付けた(埋め込み用印45cm)と地面が合う様に建ててください。

②



微調整は、あて木をしてハンマーで叩きます。
※パイプの先をつぶさないようにしてください。



埋込み用印と地面を合わせます。

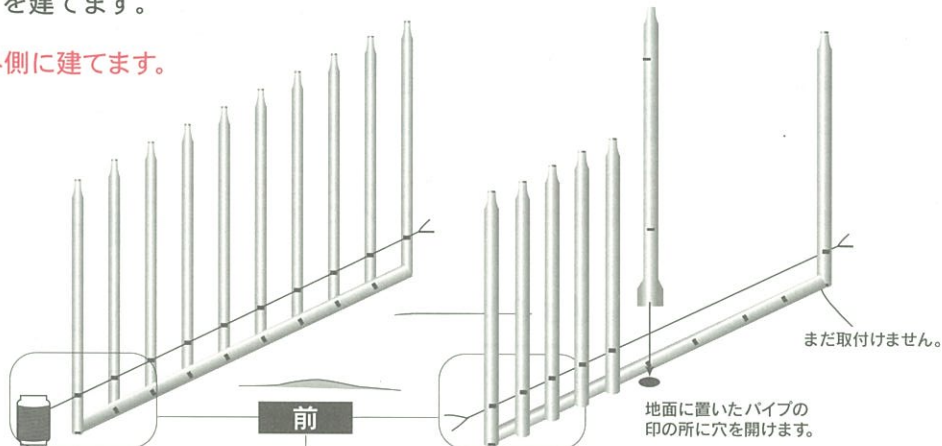
D ケース ⑩ 水糸 1個

- (3) 四隅に建てた②のパイプに付けた印(水糸60cm)に、⑩を結びつけて張ります。

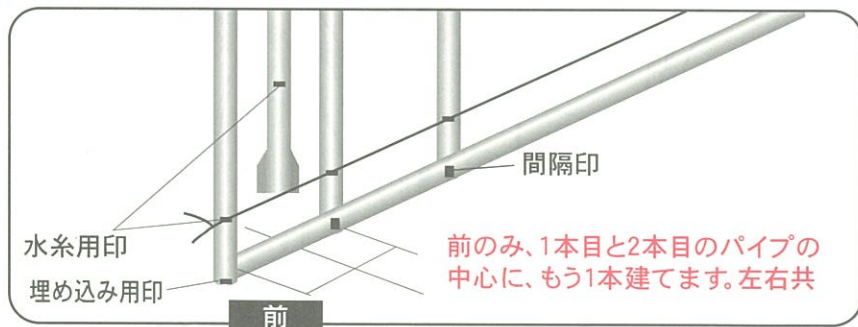
- (4) 横通し用パイプに付けた印(58.5cm間隔)の位置に約45cmの穴を掘ります。

- (5) 残りの②のパイプを建てます。

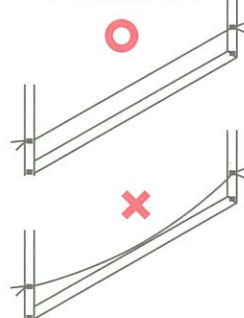
※横通し用パイプの外側に建てます。



- (6) 前面の補強のため、脚用パイプを追加します。



水糸を張ります



前のみ、1本目と2本目のパイプの中心に、もう1本建てます。左右共

7 外ジョイントに部品を取り付けます。

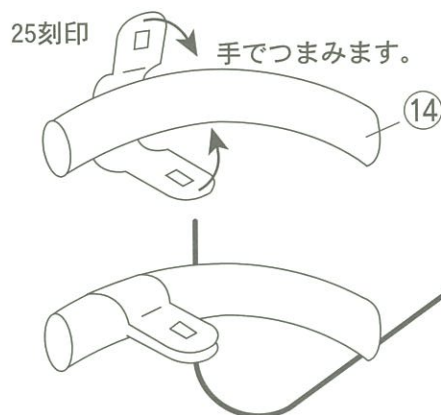
D ケース ⑭ 外ジョイント22用 2本

D ケース ⑰ ニューユニバーサルジョイント25×19 2組

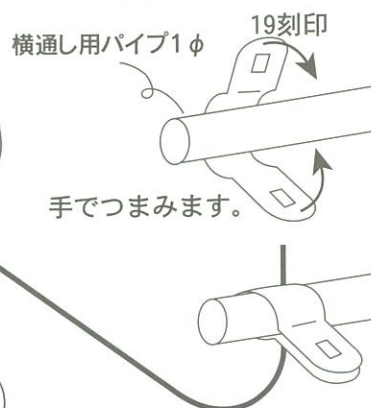
- (1) ⑰の部品を一旦バラして、⑭に25(刻印)・横通し用パイプに19(刻印)を、それぞれ合わせて形を作ってください。
- (2) 形を作った⑰を⑭で組み合わせてください。

前後用として、2組準備します。

(1) 形をつくります。



(1) 形をつくります。



8 アーチ用パイプを脚用パイプに差し込み、組みます。

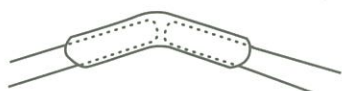
A ケース ① 22×220cm 22本

D ケース ⑭ 外ジョイント22用 9本

- (1) ①の曲がりの短い方を②に、差し込んでください。
- (2) ⑭を①に差し込み継ぐ。⑦で作った2組は、最前と最後に使用してください。

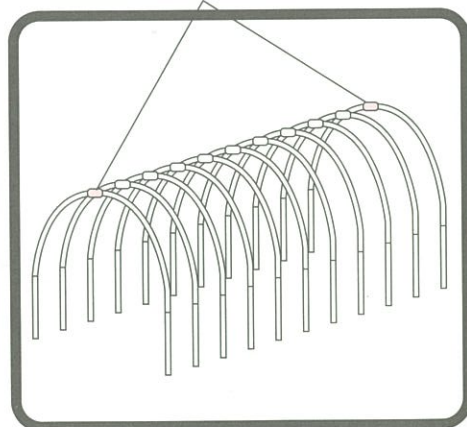
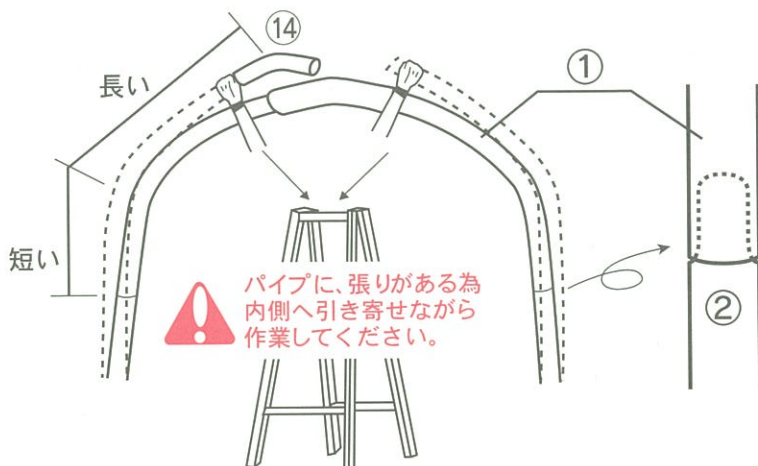


上から押さえ込む様になると、差し込みが失敗した時パイプがハネ上がり非常に危険ですので絶対に上から押さえ込まないでください。



しっかり奥まで差し込みます。

⑦で作った外ジョイント

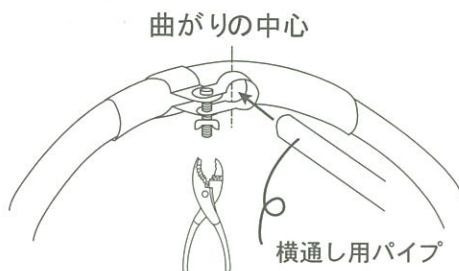
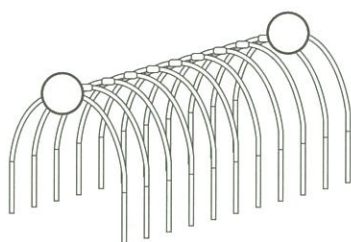


ここまでの完成図

9 横通し用パイプを本体内部に取り付けます。

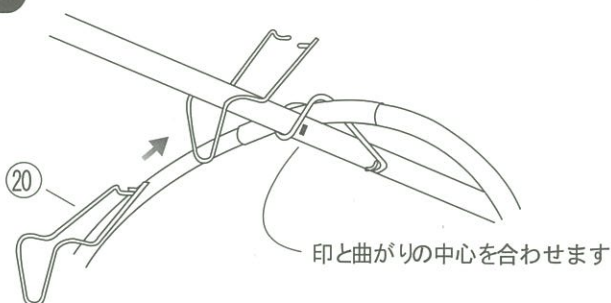
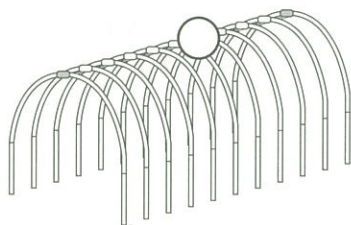
(1) 図の順番に④で作った横通し用パイプを取り付けてください。

前後2箇所に取り付けてください。



D ケース ⑳ パイプバンド 25×19 9個

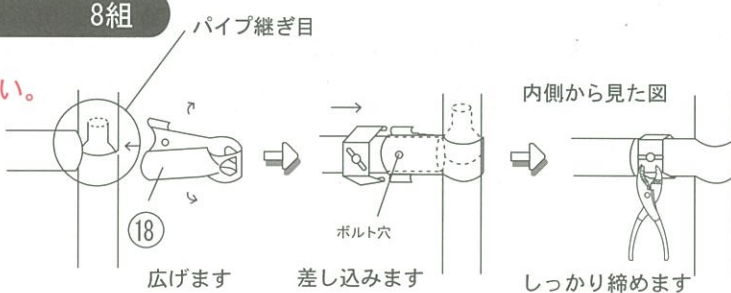
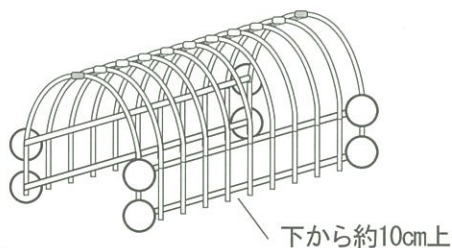
中9箇所に取り付けてください。



D ケース ⑱ T バンド 22×19

8組

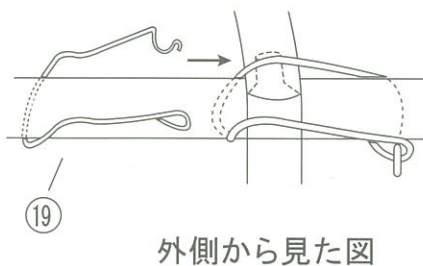
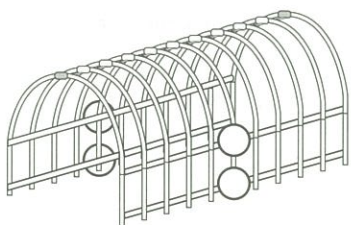
前後左右8箇所に取り付けてください。



ネジ突起部は、内側へ。

D ケース ⑲ フックバンド 19×19/兼用 36個

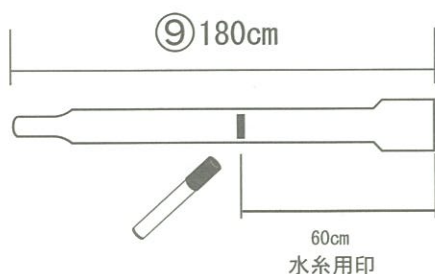
左右中36箇所に取り付けてください。



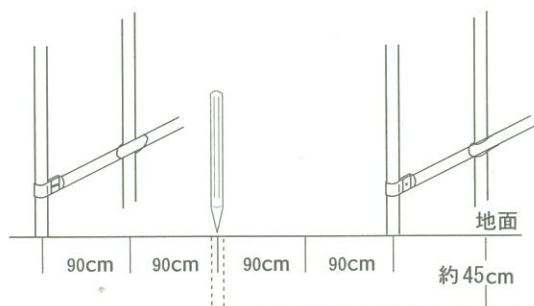
10 後部用パイプを組み立てます(出入り口ではありません。)

C ケース ⑨ 19×180SPcm 3本

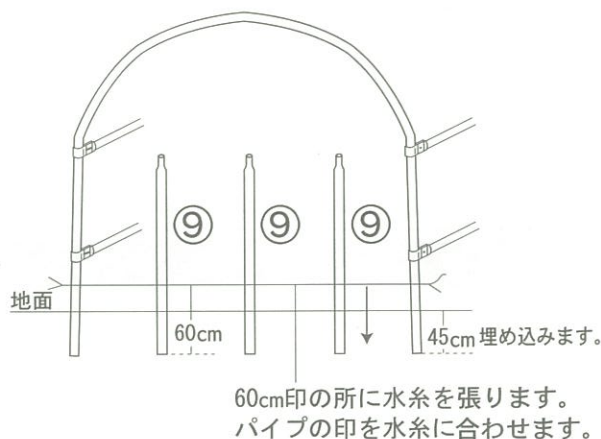
(1) ⑨後部脚用パイプに印を付けてください。



(2) 90cm間隔に、約45cm深さの穴を掘ります。



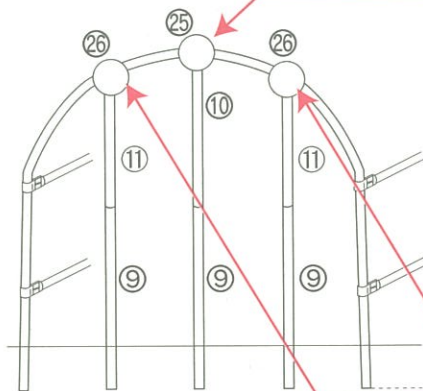
(3) 後面両端の脚用パイプ60cm印の所に水系を張り、⑨後部脚用パイプを差し込み60cmの印を水系に合わせてください。



C ケース ⑪ 19×85cm 2本

D ケース ②⑤ ニューユニバーサルジョイント25×19 1組

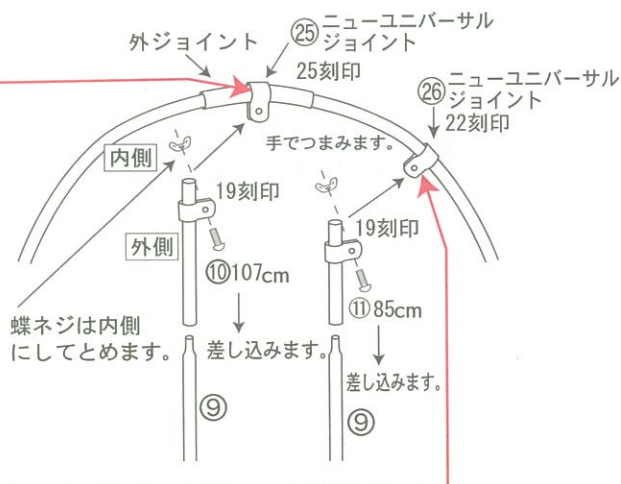
(4) 天井部の外ジョイントに
②⑤のニューユニバーサルジョイントを取り付け
⑪のパイプを止めてください。



C ケース ⑩ 19×107cm 1本

D ケース ②⑥ ニューユニバーサルジョイント22×19 2組

(5) 下図の様に、アーチ用パイプの左右に
②⑥のニューユニバーサルを取り付け
⑩のパイプを止めてください。

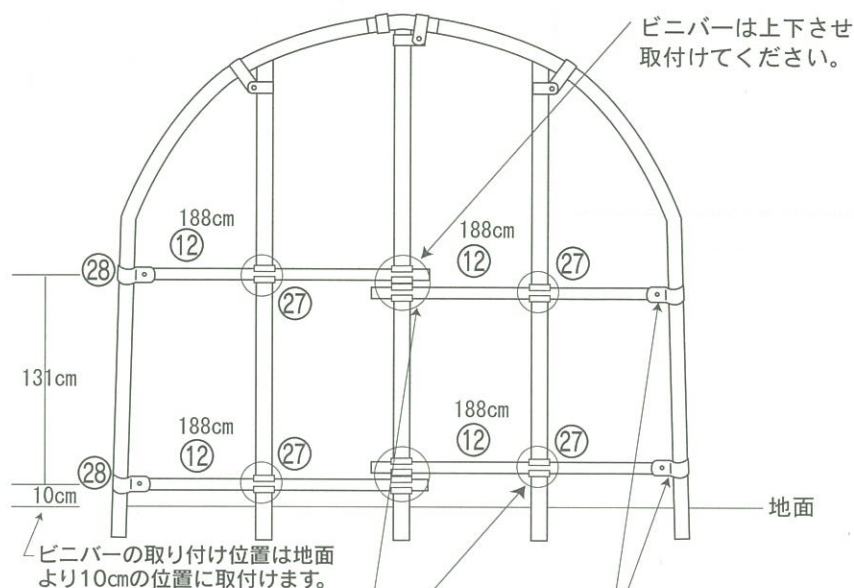


11 後部用パイプを組立て、ビニバーを取り付けます

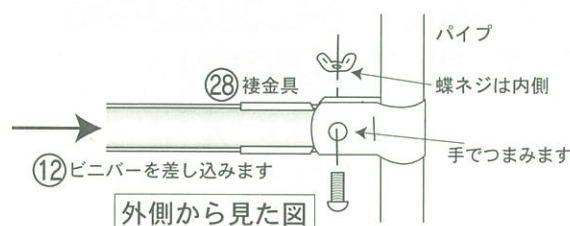
Cケース ⑫ ビニバー188cm 4本

Dケース ⑳ パイプ止金具 19用 8個

Dケース ㉑ 棲金具(外) 22用 4個



外側のパイプ左右、上下四箇所を㉑の棲金具で止めてください。



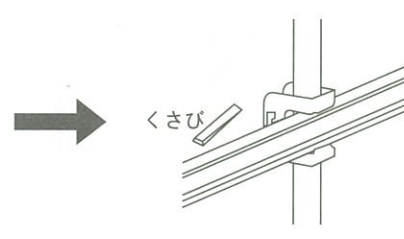
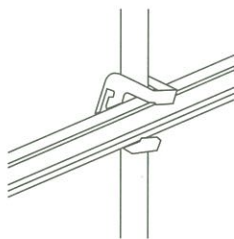
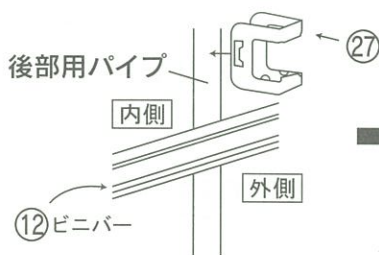
後部用パイプ上下8箇所を㉑パイプ止金具で止めてください。

作業手順

1 パイプ止金具を後部用パイプにはめ込みます。

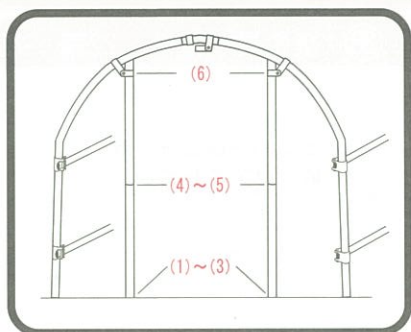
2 パイプとビニバーに隙間をあけて、図のようにパイプ止金具を斜めに入れ込みます。

3 クサビを打ち込みます。

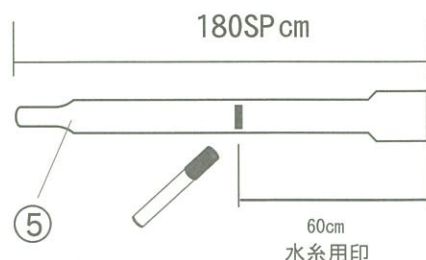


12 前部用パイプを組み立てます(出入口)

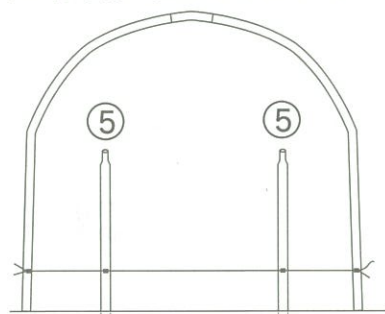
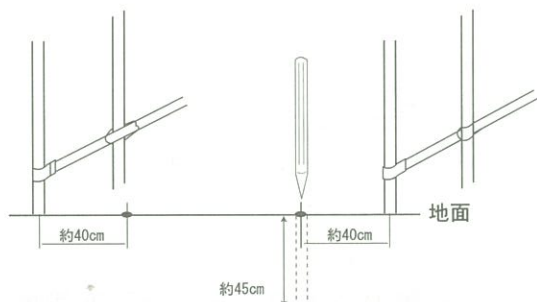
C ケース ⑤ 19×180SPcm 2本



(1) ⑤に、印を付けてください。



(2) 端から40cmに、約45cm穴を掘ってください。 (3) 間口両端脚用パイプの水糸用印に水糸を張り、⑤の印が合う様に建ててください。

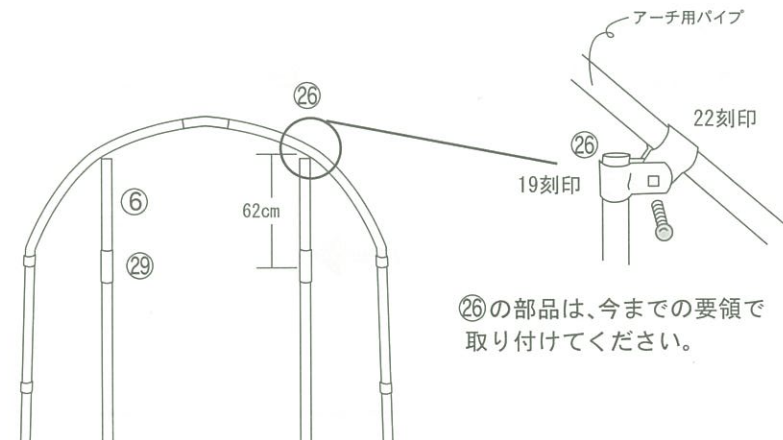
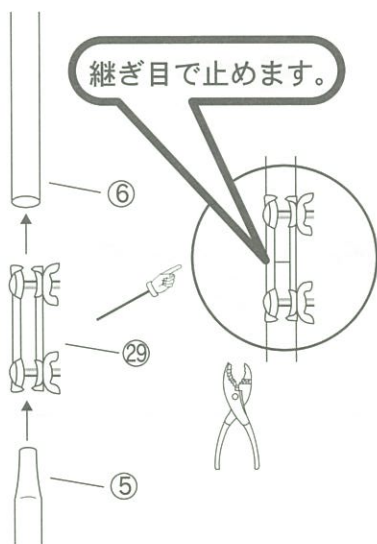


C ケース ⑥ 19×62cm 2本

D ケース ②⑨ ストレートジョイント 2個

D ケース ②⑥ ニューユニバーサルジョイント22×19 2組

(4) 建てた⑤に②⑨を各々先に通しておき、⑥を差込んでください。
 (5) ⑤と⑥の継ぎ目を②⑨で止めてください。
 (6) ⑥の先端部とアーチ用パイプの接点を②⑥で止めてください。



②⑥の部品は、今までの要領で取り付けてください。

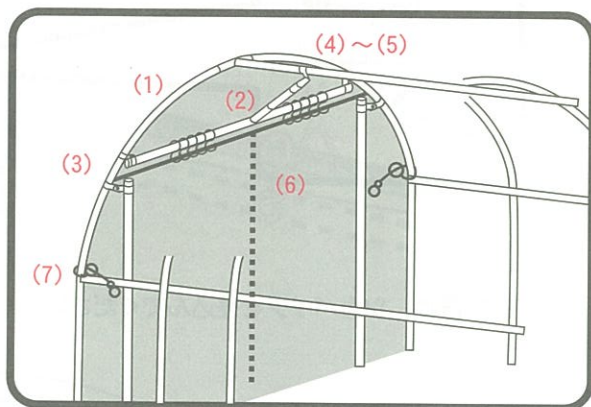
13 前幕を取り付けます。

C ケース ⑦ 19×119cm 2本

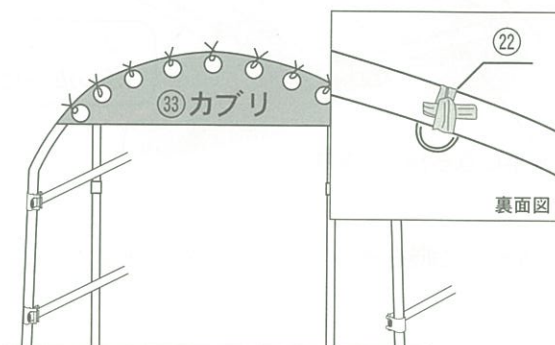
C ケース ⑧ 19×34cm 1本

D ケース ②② Rバンド グレー約70m 1個

E ケース ③③ 一式



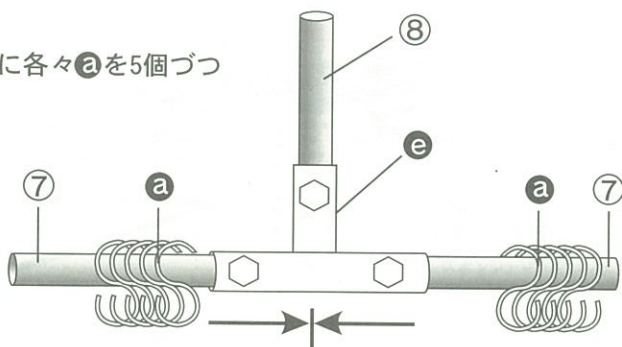
(1) ③③前幕のカブリを②②でアーチ用パイプに結び止めます。



②②を30cm程に数本カットしておき
全てのハトメを止めてください。

(2) 下図の様に組んで下さい。

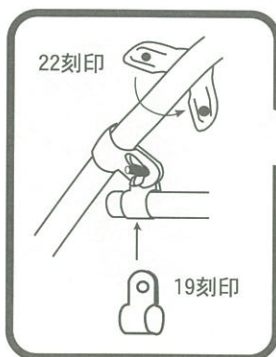
⑤の部品に⑦・⑧を差込み、⑦のパイプに各々⑤を5個ずつ通してください。



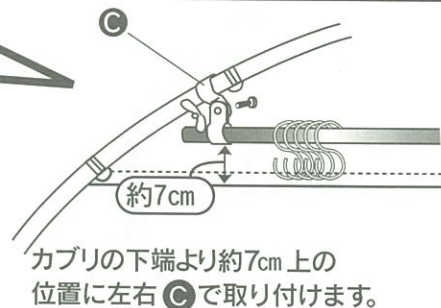
中心でしっかり止めます。

(3) (2)で組んだパイプを、

③でアーチ用パイプに取り付けてください。

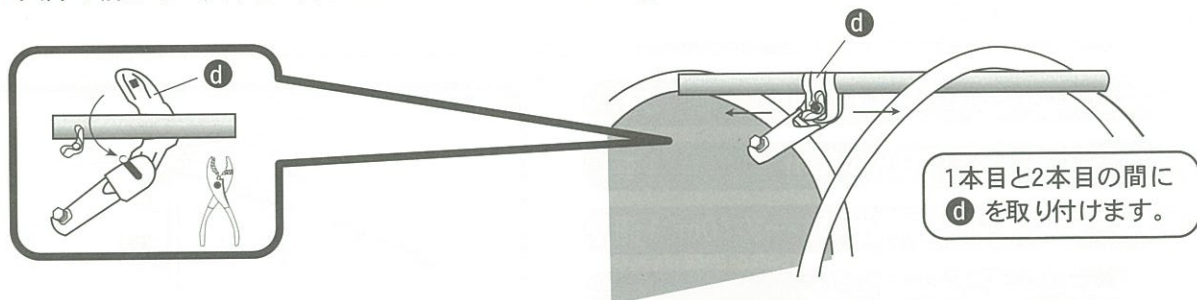


 蝶ネジは、内側へ。

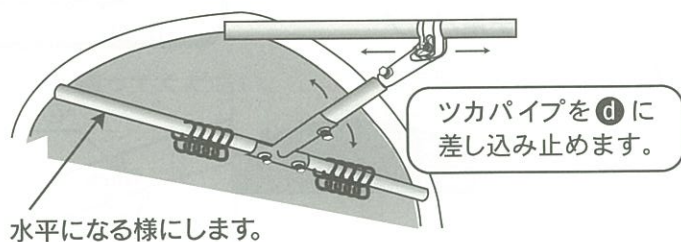


カブリの下端より約7cm上の
位置に左右 ③で取り付けます。

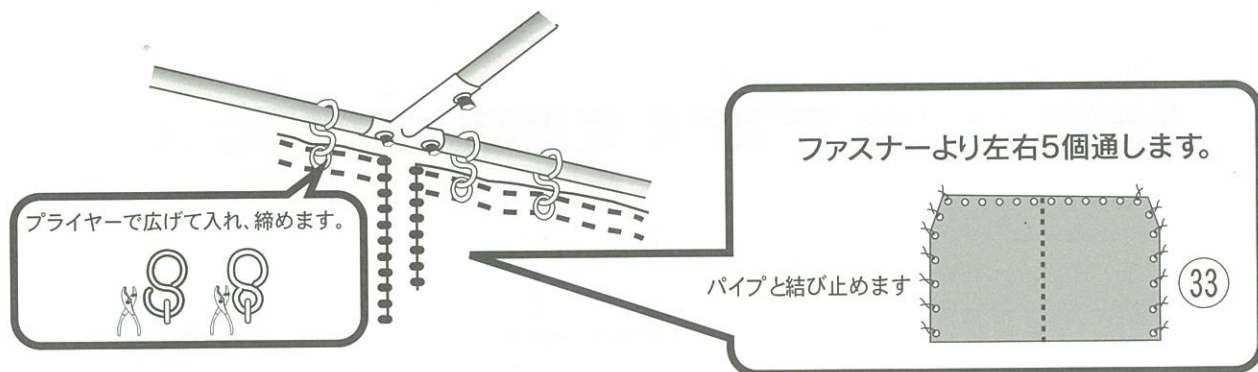
(4) 天井の前から1本目と2本目のアーチ用パイプの間に**d**を取付けてください。



(5) その**d**に、ツカパイプを差込んでください。

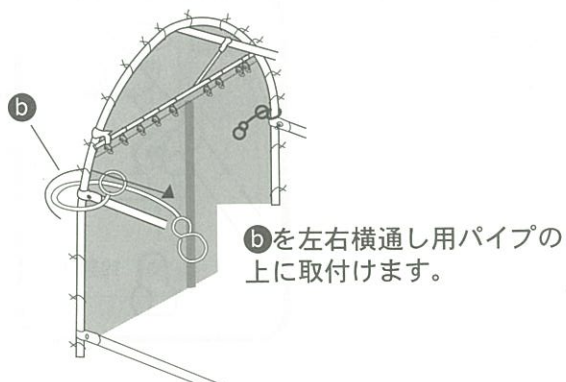
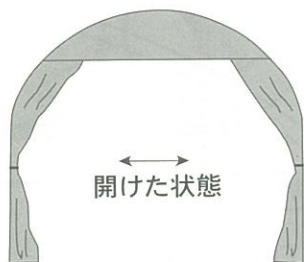


(6) ③③前幕を広げて、上部はハトメに**a**を通して、残りのハトメはパイプに②②で結び止めてください。



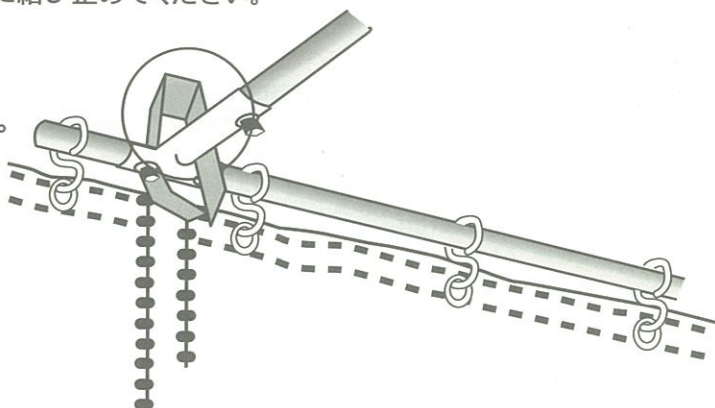
(7) 横通し用パイプ(1番上)取付け位置に**b**を左右に取付けてください。

※前幕を開けた時、この**b**で止めます。



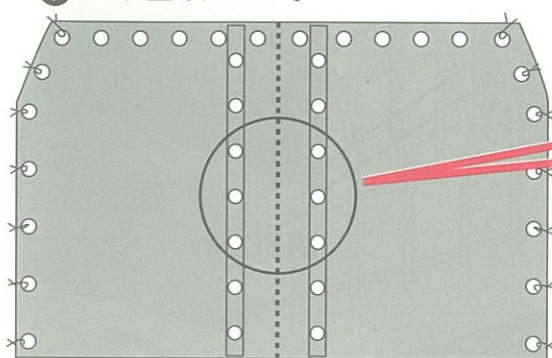
(8) カブリに付いているバンドを部品に結び止めてください。

結び止めます。



(9) 前幕のファスナー保護

f ナップ止めについて



解説 1
17 ページ

14 後幕を取り付けます。

C ケース ⑬ スプリング50cm 12本

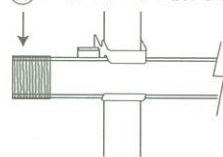
D ケース ②② R バンド グレー約30m 1個

D ケース ③③ スポンジテープ10cm 4枚

E ケース ③② 後幕 1枚

(1) ③③ スポンジテープをビニバーの先端に張ってください。
(粘着テープタイプ)

③③ スポンジテープを張ります

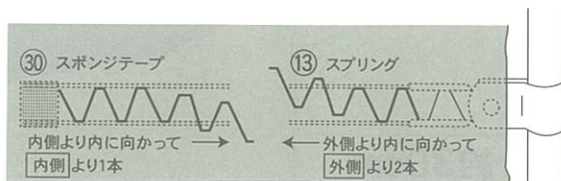
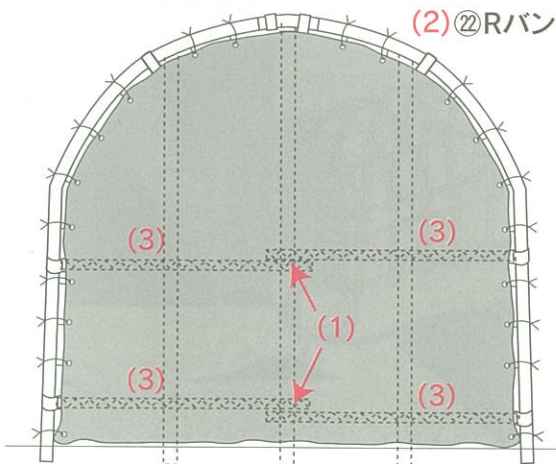


(2) ②② Rバンドで結びます。

(2) ②②のRバンドを30cm程に切り、後幕をアーチ用パイプに結びとめてください。

(3) 後幕をビニバーに止めてください。

* スプリングは下図の様に
外側と内側より止めてゆき、
かさなる所は二重に止めてください。

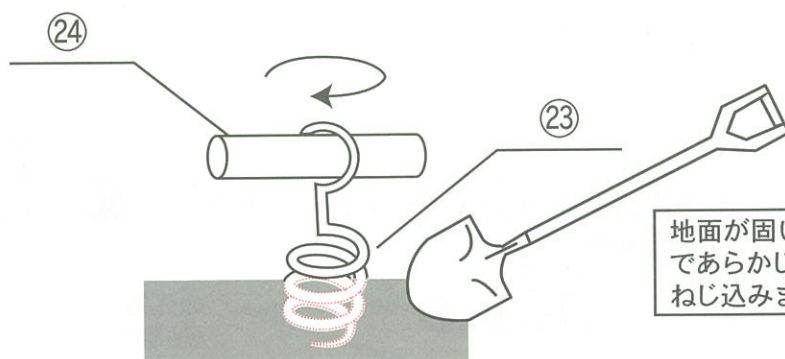
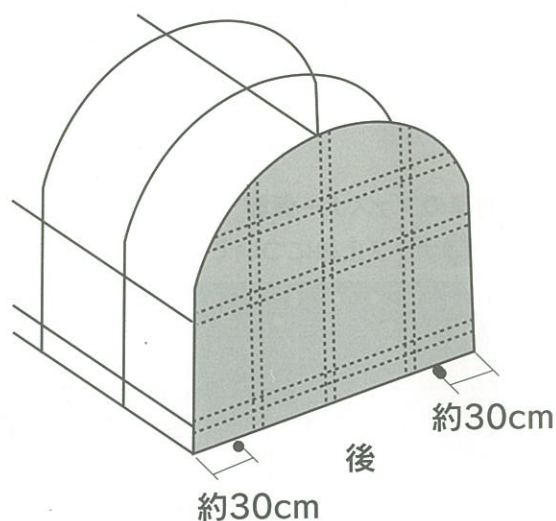
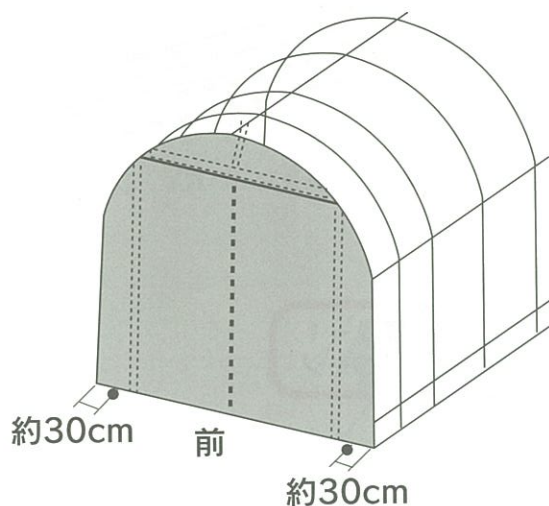


15 ラセン杭をねじ込みます。

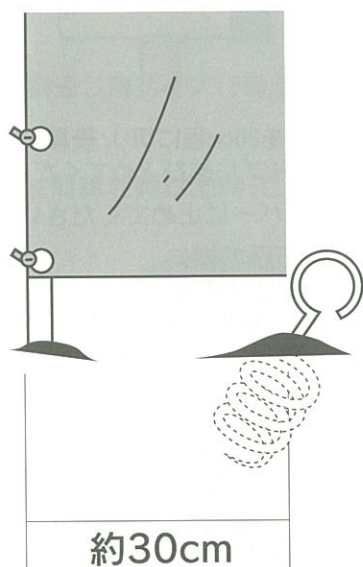
D ケース ②③ ラセン杭小 4個

D ケース ②④ ラセン杭用パイプ19×60cm 1本

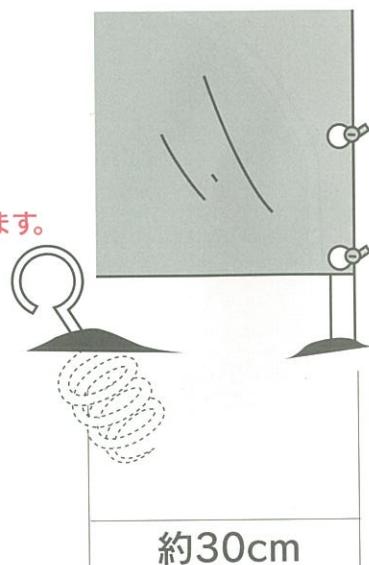
(1) 下図の位置に②③をねじ込んでください。



※ ②④のパイプは、ラセン杭をねじ込む作業以外は使用しませんので、別途管理してください。



中側へ向かって斜めにねじ込みます。



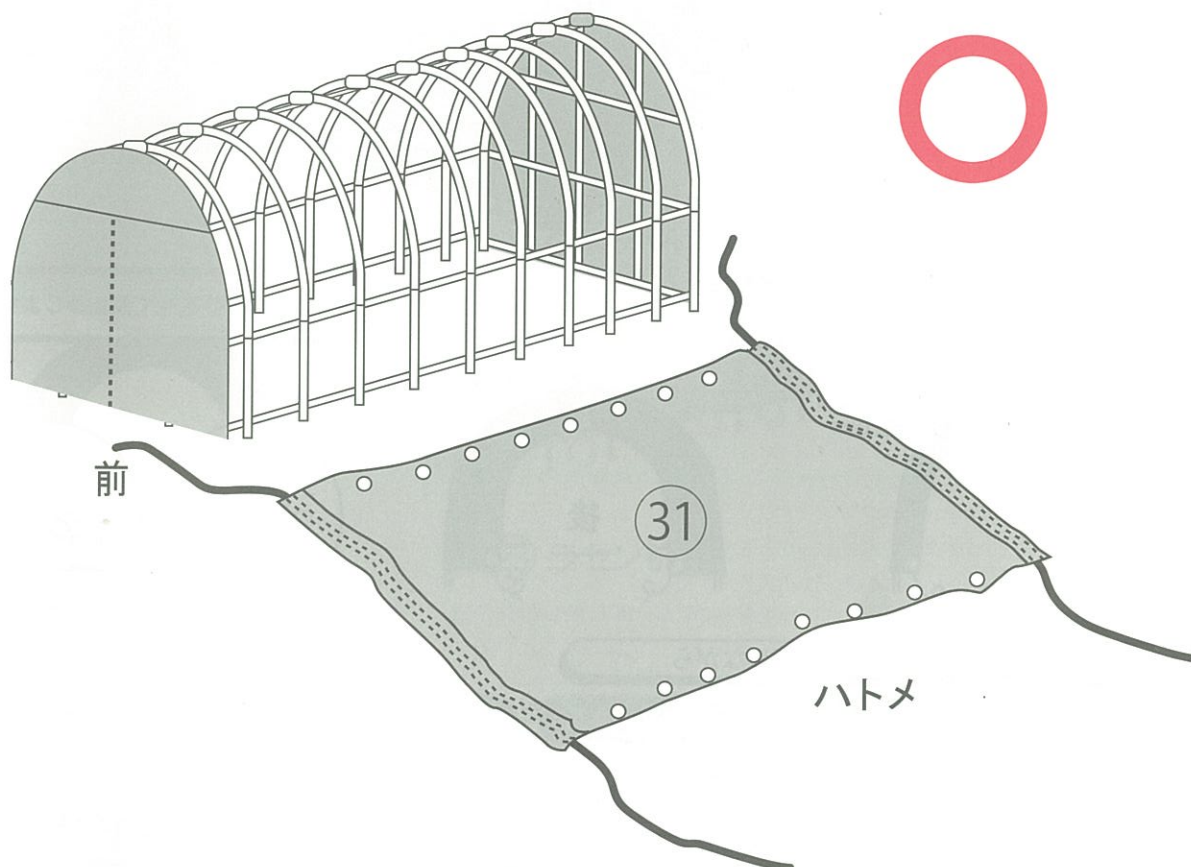
16 天幕を広げます。

E ケース

③1

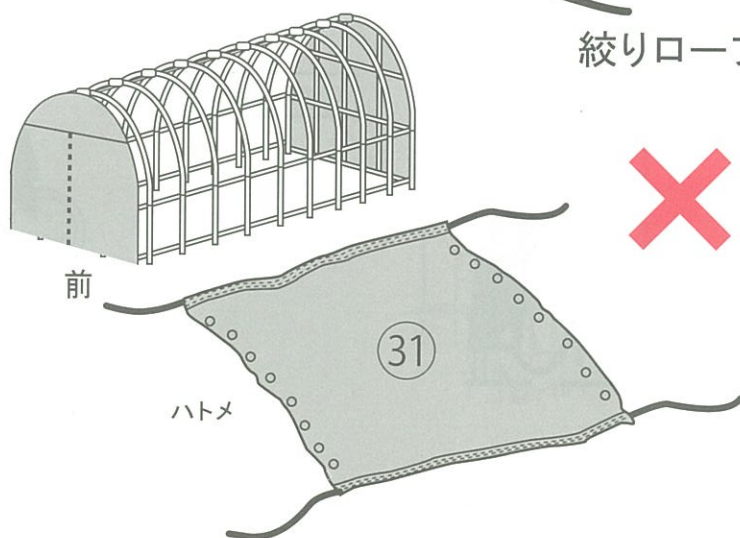
天幕

- 本体の各部品が正しくしっかり取付けられているか確認してください。
 - 突風によりあおられ、思わぬ事故・ケガの原因になりますので風の強い日は作業をしないでください。
 - 天幕を広げる際は、本体周辺を整理してキズが付かない様に注意してください。
- ▲ 前・後・天幕、張替用がありますので、お買い求めの販売店にてお問合せください。



ハトメ

絞りロープ



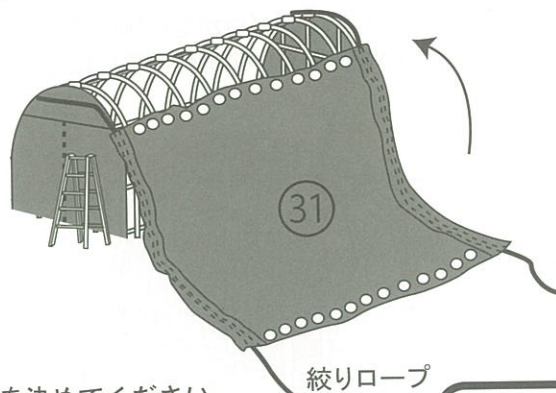
前

ハトメ

絞りロープ

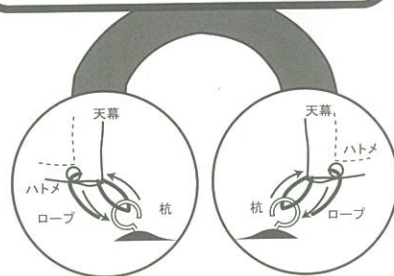
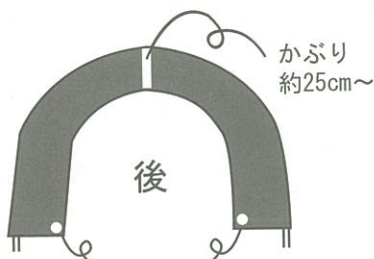
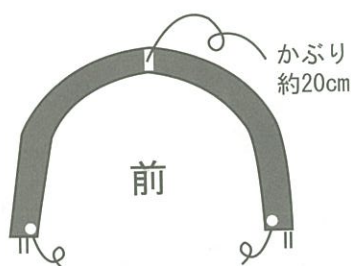
17 天幕を被せて、張ります。

- 突風によりあおられ、思わぬ事故・ケガの元になりますので風の強い日は作業をしないでください。
- 天幕を広げる際は、本体周辺を整理してキズが付かない様に注意してください。
- 脚立等を使用する際は、注意して作業をしてください。
- 絞りロープを引っ張ると抜けますので注意してください。



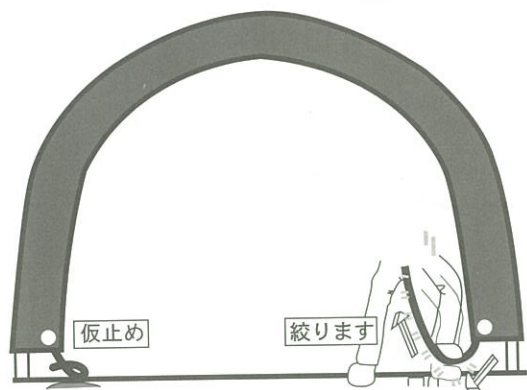
(1) 天幕を被せて、前後のかぶりを決めてください。

天幕絞りロープを全て仮止めします。

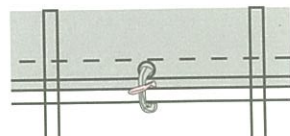
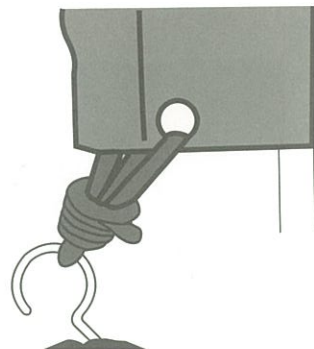


前後のかぶり・左右すき間を確認しながら

- (2) 片方の杭からロープを外し、ロープを引き上げてください。
- (3) ロープを引き上げたまま、足を上下に動かしてロープを踏み込み絞ってください。
- (4) ピーンとロープを張ったら、ハトメと杭に通して、しっかり杭に結び止めてください。
- (5) 片方の仮止めを外して(3)～(4)と同じ様に作業してください。
- (6) 反対側(前をしたら後)も同じ要領で作業してください。

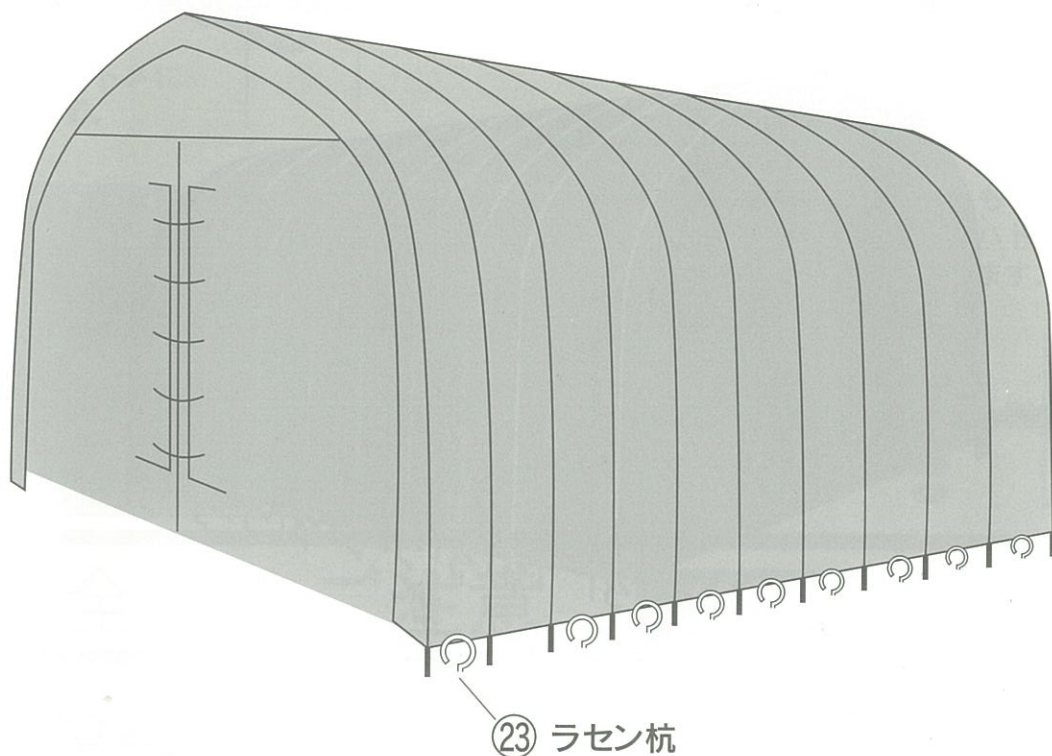


しっかり結び止めます。



- (7) 天幕の横に付いている全てのハトメを横通し用パイプに②で止めてください。
※この時、結び止めたパイプを均一に下に下げると、天幕がきれいに張れます。

18 ラセン杭をねじ込みます。

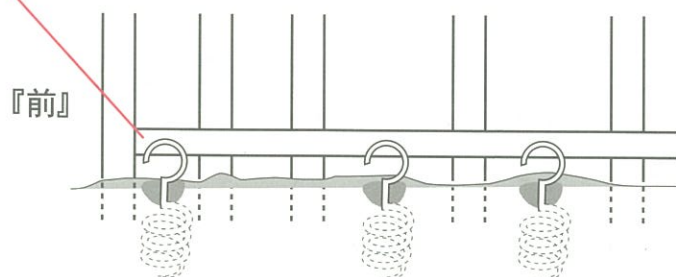
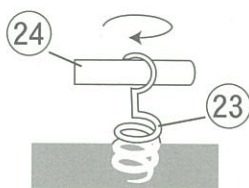


D ケース ②③ ラセン杭小 18個

D ケース ②④ ラセン杭用パイプ19×60cm 1本

(1) ②③ ラセン杭を脚用パイプの間ごとにねじ込んでください。(左右)

『注』前の個所は、右下図の様にしてください。

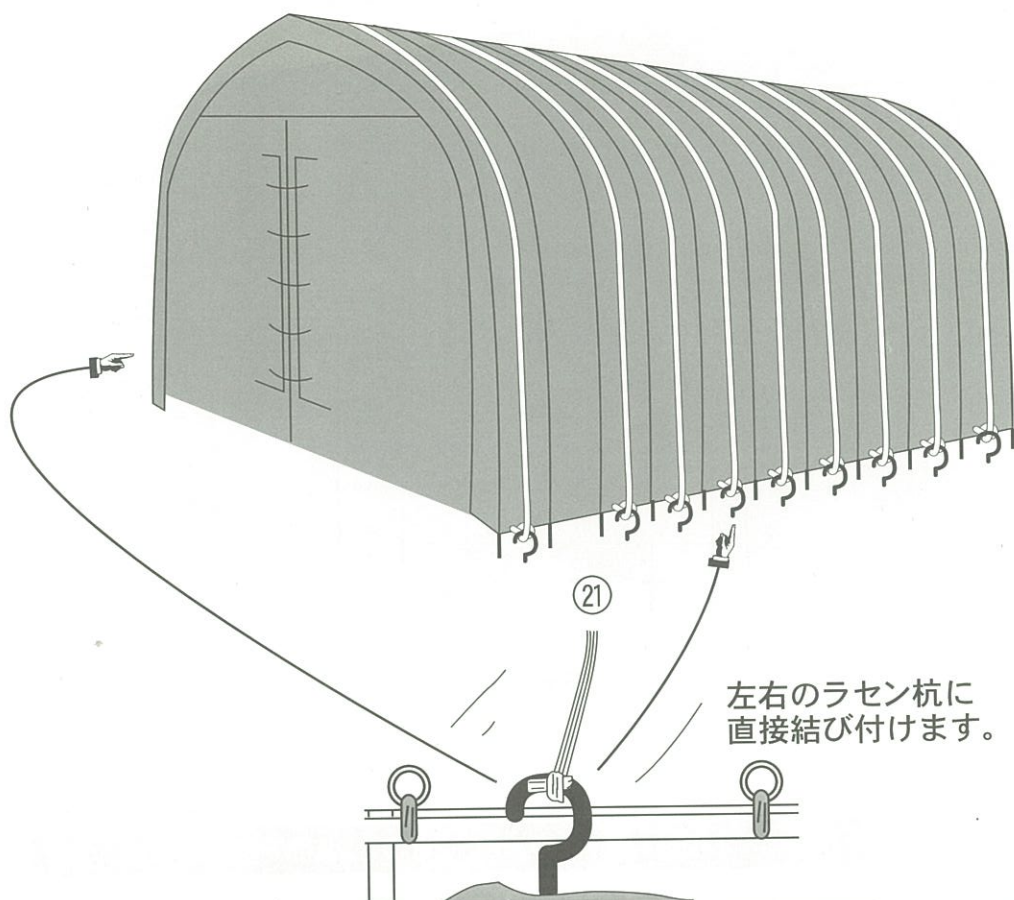


各パイプの間に杭をねじ込みます。

19 天幕を押さえます。

D ケース ②1 Rバンド 5芯×約150m 1個

※Rバンドの締め過ぎに注意してください。 ※Rバンドは、定期的に締め直してください。



■ 商品を末永くご愛用していただく為にも下記事項をお読みください。

■ 規格等が分かるように、全ての用紙を保管してください。

● パイプについて

○ パイプは、特殊亜鉛メッキ加工を施してありますが、長年ご利用されていると切り口等から錆びが発生します。
(設置条件で年数は変わります)ので、そのまま使用されると接触したシートが破れるおそれがあるので、錆び付いたパイプ(部品含む)は、交換してください。

● バンドについて

○ 長年ご使用されていると老朽等により劣化します(設置条件で年数は変わります)、そのまま使用されると接触したシートが破れるおそれがあるので、劣化したバンドは交換してください。

● シートについて

○ シート耐久年数は設置場所等により大きく変動します。
○ 張り替用がありますので、お買い求めの販売店でお問い合わせください。

NAN-
CORPORATION 南榮工業株式会社

解説-1

Eケース

① 別袋(ナップ止め)

使用目的：風によるファスナーの保護

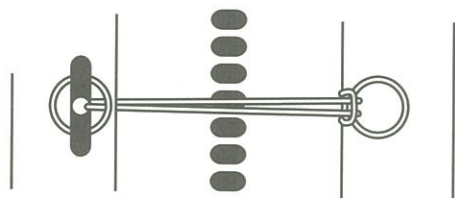
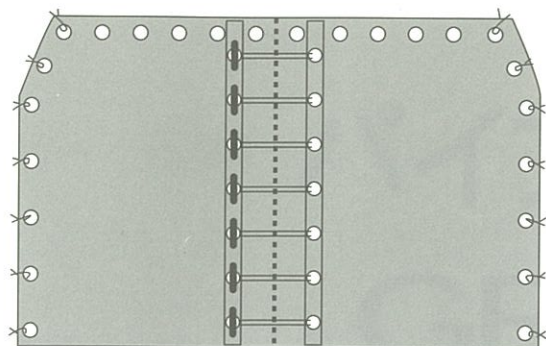
ハトメに通します。

ファスナー

片方のハトメに通します。

ハトメ

※ナップを通す時、シートも引き寄せます。
ナップだけを引っ張ってハトメに通そうとすると、きつく感じます。



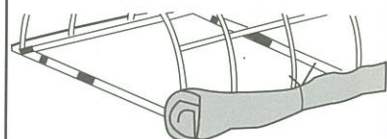
安全上のご注意

補足事項

警告

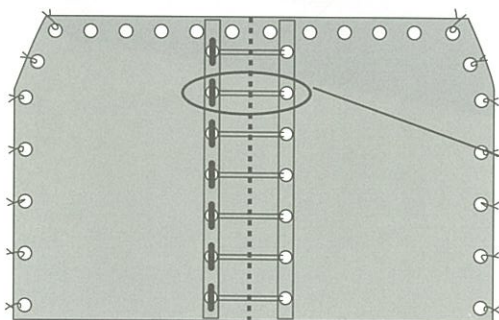
◇風の強い時、あるいは強風が予想される時は、
全てのシートを取り外してください。
(倉庫が風に飛ばされて、思わぬ災害のもとになります。)

強風時は、シートを横にまとめてロープ等で止めます。



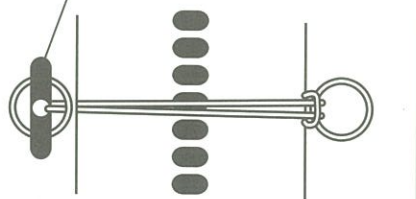
注意

◇前幕ファスナーの保護、また負担を軽減するため、
ファスナーを閉めた後は確実にナップ止めをしてください。
(詳しくは説明書をご覧ください。)



前幕

ナップ止め



※ナップ止めの数は、型式により異なります。